

松橋合材工場、エコプラントが完成

1月15日、熊本県宇城市内ある松橋合材工場の新プラントが完成し、火入式が執り行われました。

新プラントは環境負荷の低減に配慮した最新装置を備え、安全性、防音、防臭、粉じん対策に万全の体制を敷いており、安全で高品質な製品を提供いたします。

【施設概要】

1. 所在地 熊本県宇城市松橋町曲野1315-1
2. プラント能力 最大生産能力：120 t/h
3. 取扱品目 アスファルト合材、再生アスファルト合材、全天候型常温合材

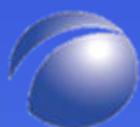


代表による火入の儀



記念の集合写真

THE WAY TO THE FUTURE

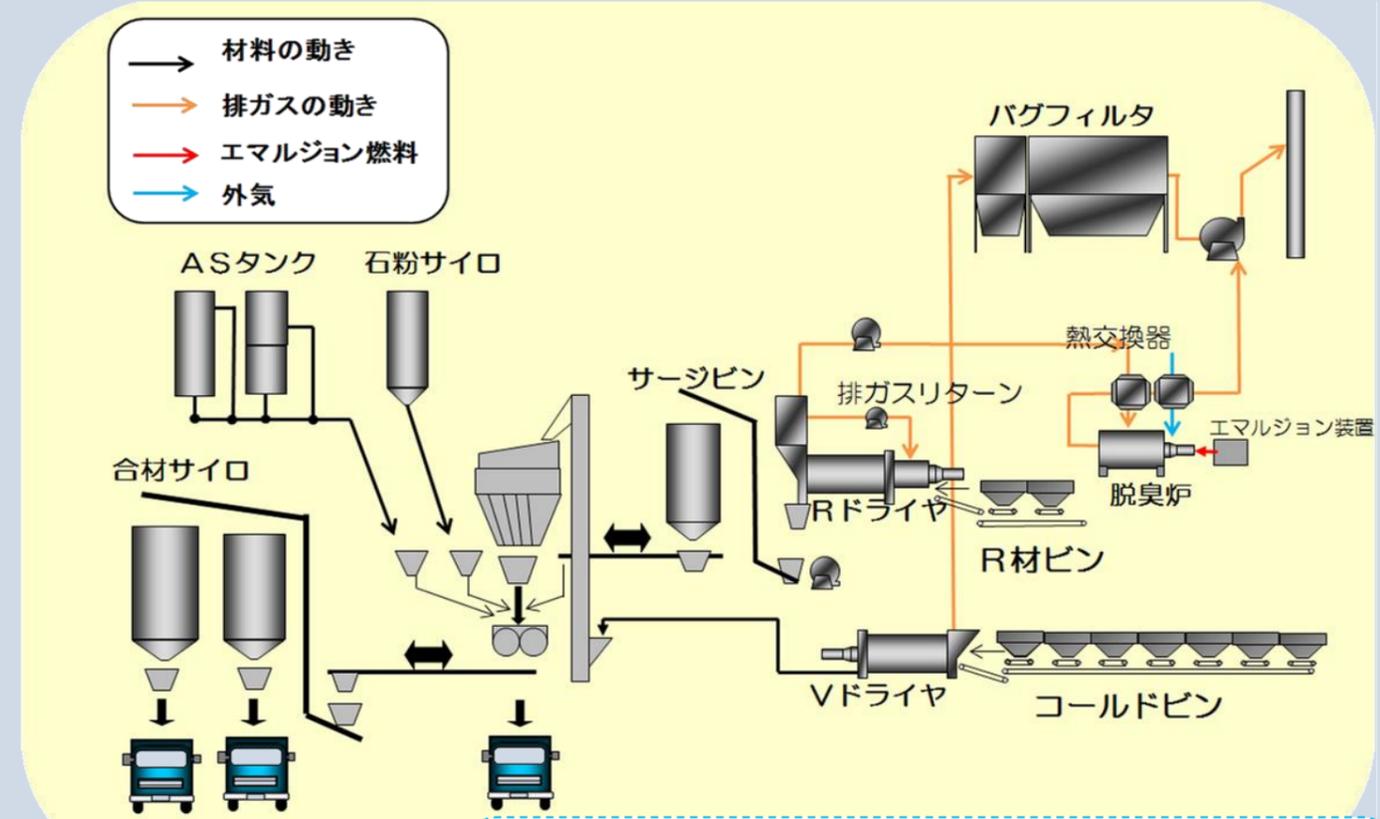


三井住建道路株式会社

SUMIKEN MITSUI ROAD CO.,LTD.

松橋合材工場

松橋合材工場 5つの特徴



アスファルトプラント	TAP-1520	最大生産能力	120 t/h
リサイクルプラント	TRD-60	生産能力	60 t/h
脱臭炉	TEC-60		
破碎プラント	TCP-90		

無限の可能性に挑戦し 新しい道を創造します

●アスファルト合材プラント●



舗装は人や車両が円滑に通行できるための大切なものです。その舗装には主にアスファルト合材が使用されています。



弊社では徹底した品質管理のもと、アスファルト合材を主体とした製品を迅速にお届けできるような供給体制やCO₂削減に取り組んでいます。



松橋合材工場では、新型バーナや脱臭炉を設置し、従来のアスファルトプラントより環境負荷を低減しています。

●破碎プラント●



舗装は再利用できます。これは資源の節約や環境汚染の防止のために必要なことです。



破碎プラントでは、お引き取りしたアスファルト塊やコンクリート塊を再利用できる大きさまで碎きます。

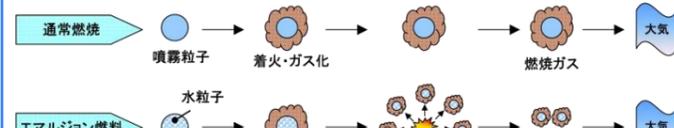


その後、アスファルトプラントに併設されているリサイクルプラントで、再生アスファルト合材として生まれ変わります。

●エマルジョン装置●



脱臭バーナにはエマルジョン装置を採用。化石燃料(A重油)にミクロの水滴を均一に分散させているため、大幅に燃焼効率を向上させることができます。A重油を燃焼させたときと比較して、二酸化炭素、硫酸化合物、窒素化合物の排出量を削減できます。



特許取得 2010-196102

●全天候型常温合材●



アスファルト道路の小規模な修理には、常温合材を使用しますが、「ロードケアZ」は天候に関わらず施工可能です。細粒タイプと開粒タイプがあり、舗装の種類に合わせた修理ができるのも特徴です。

簡単・スピーディに 施工完了!





●営業品目●

- 新規合材 (密粒度、粗粒度、開粒度、改質密粒度、改質粗粒度、改質開粒度)
- 再生合材 (再生密粒度、再生粗粒度)
- カラー合材 (着色カラー、自然色バインダー)
- 環境改善合材 (排水性、半たわみ、保水性、中温化)
- その他 (ロードケアZ(全天候型常温合材)、乳剤、再生路盤材)



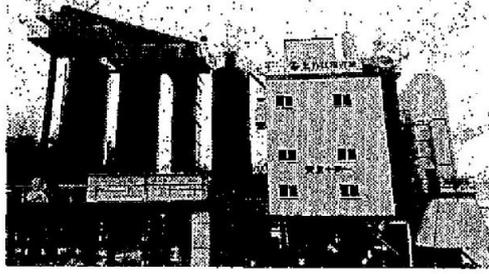
三井住建道路株式会社

松橋合材工場

熊本県宇城市松橋町曲野 1315-1

0964-33-0322

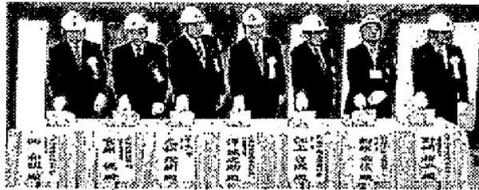
三井住建道路 松橋合材工場火入れ



三井住建道路が建設を進めていた松橋合材工場(熊本県宇城市松橋町曲野1315の1)の新アスファルトプラントが完成し、15日に現地で行われた火入れ式が行われた。松橋合材工場は、操業開始から40年が経過し、合材プラント設備が老朽化したため、合材プラントの建て替えに並行して中間処理施設を含めた場内環境の再構築に取り組んでいた。新プラントは環境負荷の低減に

設計・施工＝田中铁工、基礎工事＝高橋建設

配慮した最新装置を備え、安全性、防音、防臭、粉じん対策に万全の体制を敷いている。火入れ式では三井住建道路の澤誠之助社長、西和昭九州支店長、野崎裕二松橋合材工場長、宇土市の元松茂樹市長、熊本労働基準監督署の江上吉成署長、宇城地域振興局の宮原健維持管理調整課長、熊本県建設技術センターの船原幸信理事長の7人が点火スイッチを



西支店長、澤社長、江上署長、船原理事長、野崎工場長、松橋合材工場長、宇土市長、元松市長、宮原課長、田中铁工の代表者が点火ボタンを押す

入れ、工場を本格稼働させた。新アスファルトプラントの設計・施工は田中铁工、敷地の基礎工事は高橋建設が担当した。

新プラントの出荷能力は1時間当たり最大120トンを確保した。新型バーナーや脱臭炉を設置し、従来のアスファルトプラントより環境負荷を低減させている。脱臭バーナーにはエマルジョン装置を採用。重油を燃焼した時と比較して、二酸化炭素・硫黄酸化物・窒素酸化物の排出量を削減した。また、従来の120トに加え、140トの合材サイロを新設することで、合材の安定供給を計っている。

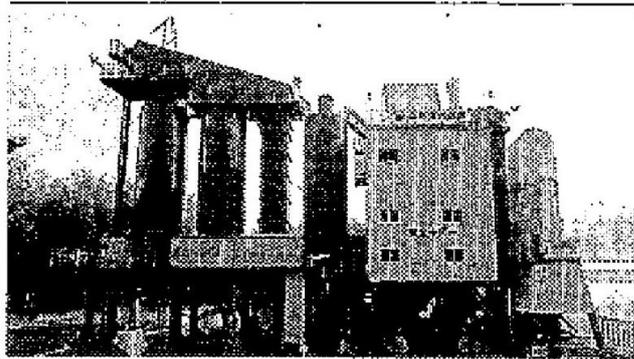
式典後の直会で澤社長は「粉じん・騒音対策に配慮する最新の装置を備えたプラントが完成した。気持ち新たに工場の運営に取り組み、お客さまのニーズに合った安心で高品質な製品を提供していきたい」とあいさつ。

田中铁工の代表として田中铁工の古賀武志社長は「既存のプラントを操業しながらの工事であったが無事故・無災害で完成させることができた。新たに脱臭装置を設置するなど地域にも配慮した環境型新プラントでますます発展してもらいたい」と謝辞を述べた。

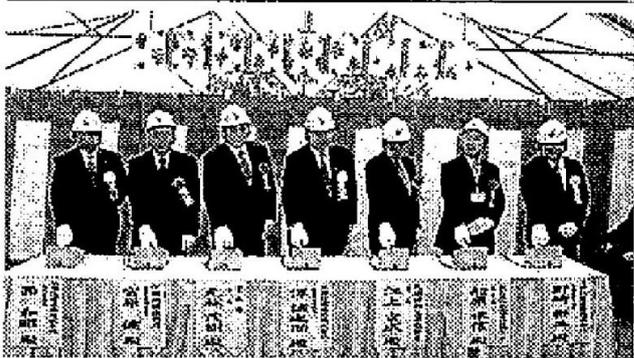
三井住建道路

松橋合材工場が完成

生産能力最大120トに増強



完成した松橋合材工場



点火スイッチを押す澤社長（中央）ら

三井住建道路は15日、熊本県宇城市松橋町曲野の現地で松橋合材工場火入式を開いた。基礎工事は高橋建設、プラントの設計施工は田中鉄工が担当した。アスファルトプラントの生産能力は1時間当たり最大120トを誇り、16

日から操業を始めた。

神事では、澤誠之助社長を始め、西和昭九州支店長、野崎裕二松橋合材工場長、来賓の元松茂樹宇土市長、船原幸信熊本県建設技術センター理事長らが点火スイッチを押す火入れの儀を行った。この後、玉ぐしをささげ、無事故・無災害の竣工に感謝した。

直会（なおらい）で澤社長は「昭和50年の操業開始から40年の節目の年に、時代や道路業界の変化に対応する工場を建設した。新プラントには粉塵対策や騒音対策を施した。エマルジョン燃料によって環境負荷を低減しており、安全で高品質な製品を顧客に提供できる」とあいさつした。元松市長は「経済発展は道

路が基盤だ。自治体も生活道路の維持補修に力を入れており、アスファルト合材は良い材料を使えば耐久性が増す。今後も官民一体となって宇城地域の発展に尽力したい」と祝辞を述べた。施工者の古賀武志田中鉄工社長は「防塵仕様や脱臭設備など環境型の新プラントを無事故・無災害で完成させることができた」と謝辞を述べた。

新工場は、アスファルトプラントの最大生産能力を従来の1時間当たり90トから120トに増強。燃料には化石燃料にミクロの水滴を均一に分散させて燃焼効率を高めるエマルジョン燃料を使用する。併設する合材サイロは2基で、合計260トを貯蔵する。